

# 令和3年度 事務事業評価シート

施 策	513	地域コミュニティのなかで、外国人にとっても暮らしやすい環境をつくる	部内優先順位
事 業 名	多文化共生事業費		1
目 的	増加する外国人住民に対し、日本語教育等の支援を行い、外国人にとって暮らしやすい環境を創出している。		主管課・係 (担当)
			文化芸術振興課 都市交流・国際担当 03-5608-1459
対 象 者	在住外国人		
根 拠 法 令 関 連 計 画			
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤職員2
事 業 内 容	国籍や民族などが異なる人々と互いの文化的差異を認め、外国人が地域社会の一員としてともに生きていく、多文化共生社会の実現に資する事業を実施する。 (令和3年度 事業予定) 外国人のための防災ツアー 日本語ボランティア養成講座 外国人の日本語発表会 「やさしい日本語」アドバイザー業務による、庁内における情報発信の「やさしい日本語」化 通訳・翻訳ボランティア制度の活用による区刊行物等の多言語化		
経 過	開始年度	平成18年	終了予定
	平成30年度まで、墨田区国際化推進クラブと協働で、在住外国人支援に資する事業を実施したが、令和元年度より、日本語ボランティア養成講座を区直営で実施するなど、多文化共生事業の大幅な見直しがあった。 (経過) 平成18年9月 墨田区国際化推進クラブ(SIPC)設立 →区からの補助金を原資として、外国人のための日本文化体験、日本語ボランティア養成講座、すみだまつりへの出展事業等を実施 平成31年3月 墨田区国際化推進クラブ(SIPC)解散		
議 会 質 問 の 状 況	令和2年9月定例会 多文化共生社会の実現のための国際交流活動について (区長答弁)新型コロナウイルス感染症拡大により、様々な影響が生じている。人の往来が制限されている状況を見極めつつ、オンラインツールも活用しながら、ウィズコロナとアフターコロナにおける国際交流活動を行っていく。		
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和3年11月21日 外国人のための防災ツアー 時期未定 日本語ボランティア養成講座 外国人の日本語発表会		

予算・決算額推移 (千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額 (事業費)		915	1,006	669	1,537	3,823	1,016
A.決算額 (令和3年度は見込み)		808	776	498	1,386	3,162	1,016
財 源	国						
	都						
	その他					1,982	
一般財源		808	776	498	1,386	1,180	1,016
執行率 (%)		88.3%	77.1%	74.4%	90.2%	82.7%	100.0%
B.人コスト				6,217	6,117	5,293	
総事業決算額 (A+B)		808	776	6,715	7,503	8,455	
主な事業費用の説明		通訳・翻訳ボランティアの謝礼 日本語ボランティア養成講座実施委託料 「やさしい日本語」アドバイザー業務実施委託料					
予算書P (令和3年度)	P119 3-1	執行実績報告書P (令和2年度)			P53 下段1		

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標					単 位	
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
				目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	外国人住民数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
15,000		R7	目標	11,500	11,850	12,200	12,550	
			実績	11,530	12,056	12,543	12,942	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	目標	12,950	13,300	13,700	14,150	14,550	15,000	
	実績	12,303						
指標の選定理由及び目標値の理由								
外国人にとって暮らしやすい社会が実現すれば、結果として外国人住民数の増につながってくると考えられるため、外国人住民数を活動指標とした。(年3%増見込)								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	国籍の多様化により、多言語での対応は難しくなっている。引き続き、在住外国人が日本語を習得するための支援及び、区民に向けて、外国人住民にも伝わるよう工夫した「やさしい日本語」の普及啓発を重点的に取り組む。

課題・問題点
<p>現在「やさしい日本語」による情報発信に取り組んでいる部署は、一部にとどまっている。今後は、庁内職員に向けたさらなる普及啓発に取り組み、各部署の職員それぞれが、「やさしい日本語」で対応できるようにすることが、今後の課題である。</p>

補助金 名称	墨田区国際化推進団体補助金			主管課・係（担当）		
根拠法令	墨田区国際化推進団体補助金交付事務要領			文化芸術振興課 都市交流・国際担当		
補助概要	墨田区国際化推進クラブ（SIPC）が行う事業に対して助成する。			03-5608-1459		
目的	墨田区在住外国人等に関する各種課題解決への活動を通して、墨田区における多文化共生社会の実現を図ることを目的とする。					
対象	在住外国人					
基準	区独自基準					
補助条件	<p>次の各号のいずれかに該当する団体であることが条件である。</p> <p>(1) 組織団体の本拠地が墨田区内にあり、本区在住外国人との共生を推進するために年間を通じて活動している連合団体であること。ただし、特定の民族・国家・地域・分野（例：スポーツ、言語学習、文化芸術など）のみを対象に活動を行っている団体を除く。</p> <p>(2) 構成者の3分の2以上が墨田区民（区内在住・在勤・在学外国人を含む）であり、かつ、墨田区民が主体となって活動している団体</p> <p>(3) その他、区が特に適当と認める団体</p>					
経過	開始年度	平成18年度	終了予定	平成30年度		
	<p>平成18年、墨田区国際化推進クラブ発足に伴い、墨田区国際化推進団体補助金の交付を開始する。</p> <p>平成30年度臨時総会（平成31年3月24日実施）にて、墨田区国際化推進クラブの解散の決議がなされる。</p> <p>それに伴い、平成31年度より墨田区国際化推進団体補助金の交付を休止とする。</p> <p>令和2年3月、墨田区国際化推進団体補助金交付事務要領を廃止した。</p>					
議会質問 の状況	<p>令和2年9月定例会 多文化共生社会の実現のための国際交流活動について （区長答弁）新型コロナウイルス感染症拡大により、様々な影響が生じている。人の往来が制限されている状況を見極めつつ、オンラインツールも活用しながら、ウィズコロナとアフターコロナにおける国際交流活動を行っていく。</p>					
その他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移（千円）		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算額（事業費）		300	300	300	300	0	0
決算額（令和3年度は見込み）		300	300	300	300	0	0
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		300	300	300	300	0	0
執行率（％）		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標					単位	
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
				目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	外国人住民数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		15,000	R7	目標	11,500	11,850	12,200	12,550
				実績	11,530	12,056	12,543	12,942
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		12,950	13,300	13,700	14,150	14,550	15,000	
実績		12,303						
指標の選定理由及び目標値の理由								
外国人にとって暮らしやすい社会が実現すれば、結果として外国人住民数の増につながってくると考えられるため、外国人住民数を活動指標とした。(年3%増見込)								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
廃止を検討		令和2年3月 墨田区国際化推進団体補助金交付事務要領を廃止						

課題・問題点	
<p>墨田区国際化推進クラブの解散により、区と協働して在住外国人支援を行うボランティア団体がなくなった。しかし、語学ができるかどうかを問わず、多文化共生に興味関心をもつ人材を育成し、ボランティアとして活用していく方策は引き続き検討が必要である。</p>	